

# Step to the future

未来への前進

姫路商工会議所支援で未来へ、  
ぐっと前進された会員事業所をご紹介します！



## 依田建設株式会社

yori-ken\_e-aspiration

### 補助金を活用し、 地域密着の強みを新事業へ展開



よりた  
**依田建設株式会社**

代表取締役 依田 圭二

所在地：姫路市網干区浜田227-3  
事業内容：土木事業



HP



Instagram

#### Q これまでの歩みを教えてください

**A** 当社は、創業以来、道路工事や造成工事などの土木工事を中心に事業を展開してきました。1996年には法人化し、公共工事への参入や産業廃棄物収集運搬業の許可取得などを通じて事業領域を広げながら、地域のインフラ整備を支えてきました。当社では「迅速な行動と反応」をモットーに、お客様一人ひとりに寄り添い、細やかな要望にも丁寧に対応することを心掛けています。長年にわたり培ってきた技術力と信頼を強みに、地域に必要とされる企業を目指して事業を続けています。



#### Q 新事業（解体事業）に取り組むきっかけは何ですか？

**A** 近年、少子高齢化や人口減少を背景に、空き家の増加が全国的な問題となっています。特に当社の拠点である網干地域では、古い住宅が多く、相続後に管理されないまま残される空き家も増えています。これまで土木工事を通じて地域づくりに携わってきましたが、こうした状況を目の当たりにする中で、地域課題の解決に貢献したいとの思いが強くなりました。道路工事や造成工事で培った施工技術や安全管理のノウハウを活かせる分野であることから、空き家や老朽化家屋の解体事業を新たな柱として展開することを決意しました。

#### Q 新事業に取り組むにあたり、活用した制度はありますか？

**A** 新事業への挑戦にあたっては、小規模事業者持続化補助金を活用しました。この補助金に採択されたことで、小回りが利き、狭い道路や住宅密集地でも作業しやすいバックホーを導入することができました。網干地域には道幅の狭い場所も多く、当社の事業環境に適した設備投資となっています。申請に際しては商工会議所へ相談し、市場動向や地域課題、自社の強みを整理しながら事業計画を作成しました。第三者の視点から助言を受けたことで、事業の方向性や将来性を改めて見つめ直すことができ、計画づくりから申請まで大きな支えとなりました。



#### Q 今後の目標を教えてください

**A** 今後は解体事業を当社の新たな柱事業として育てながら、地域の空き家問題の解決にも貢献していきたいと考えています。老朽化した建物の解体を通じて安全で暮らしやすい地域環境づくりを進めるとともに、公共工事だけに依存しない安定した経営基盤の構築を目指します。また、地域に根差した企業として自治会や地域住民とのつながりを大切にしながら、「困ったときは依田建設に相談しよう」と思っただけの存在であり続けたいと考えています。地域とともに成長し、次世代へ住みよいまちを引き継ぐことが当社の目標です。